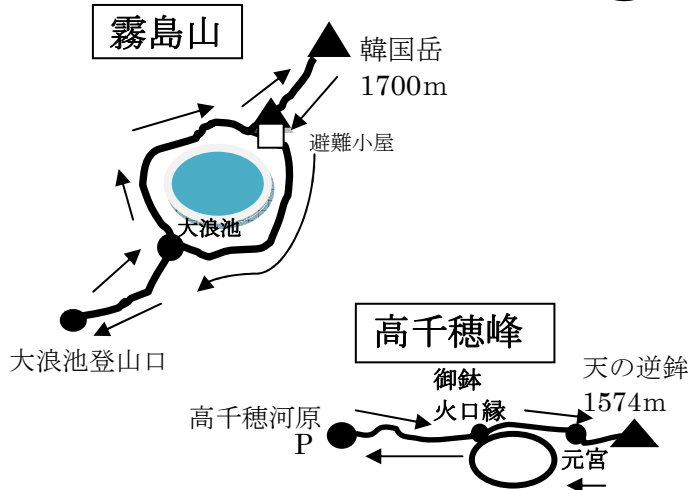


05月度 例会 山行報告書		報告者	竹内	参加 メンバー	CL:竹内幹雄 塚本英吾
個人		報告日	6/12		
山城	霧島連山	山行日	2017年05月17日(水)～		
山名	霧島山、高千穂峰		2017年05月19日(金)		
山行目的	百名山を登る		コースタイム (天候: 天気図記号)		

配布先
総会参加数
山行: 1
リーダー
原紙:
会事務局

ルート図 (地図を見て正確に)



1/2.5 万地形図: 韓国岳、霧島温泉、高千穂峰

5/17 自宅発
5/18 霧島山 (韓国岳)
快晴
8:35 大浪登山口
9:30 大浪池
10:40 避難小屋分岐
10:58 分岐出発
12:12 韓国岳 1700m
12:56 下山開始
13:50 避難小屋分岐
15:25 大浪池
16:00 大浪登山口



韓国岳から大浪池

5/19 高千穂峰
快晴
8:00 高千穂河原 P
9:30 御鉢火口縁
9:55 元宮
10:25 天の逆錐 1574m
(高千穂峰山頂)
10:45 下山開始
11:04 元宮
11:21 御鉢火口縁
12:30 高千穂河原 P



元宮から高千穂峰

〈山行報告〉前日の夜、九州・鹿児島空港に到着、レンタカーで「国民宿舎えびの高原荘」へ移動、宿泊する。フロントで登山口の確認をする。「えびの高原」登山口から硫黄山方面のコースは入山規制があり、翌朝、予定のコースを変更して「大浪池登山口」から登ることにする。樹林帯を歩きながら「ミヤマキリシマ」の花を楽しみにしていたが、まだ一分咲きで花を見るには早かった。快晴の中、気持ちよく登って行く。大浪池入口で休憩。前方には韓国岳が見えている。大浪池を右回りで登る。緩やかな傾斜の登山道を進み避難小屋近くのベンチのある広場で休憩する。ここから急な登りだが木段で整備されており、ゆっくりと登って行く。やがて「韓国岳」頂上に到着する。しばらく眺望を楽しみながら休憩をする。下山は同じ道を下り避難小屋からは反対の縁を歩いて大浪池登山口に下りる。ここから「国民宿舎みやま荘」に移動して1日目を終了。翌日は車で「高千穂河原 P」へ移動、ここから御鉢に向かって登り始める。樹林の中を進むとミヤマキリシマを見つけるが、花は見るには早いようだ。ここを抜けると赤茶けた砂礫の登山道となり滑りやすい登山道になる。段々と斜面がきつくなりストックを使い慎重に登る。上を見上げるとロープが見えており、そこに向かってゆっくりと登って行く。辿りつくると緩やかな登山道に合流した。ロープは登山道から外れないように張っていたが自分たちはコースから外れた所を登っていたのだ。そして火口縁に到着。さらに東に進むと高千穂峰が見えてくる。緩やかな登山道を進み、元

宮からは急斜面をゆっくりと登って行く。ここから 30 分程で高千穂峰山頂にある「天の逆錐」に到着した。快晴に恵まれ絶景を楽しむ。下山は登ってきた道を戻る。火口縁からは登山道を外れないように樹林帯へ下りる。そして「高千穂河原 P」に到着した。ここから鹿児島空港に向かう。途中、温泉に立ち寄り、汗を流してから空港近くのレンタカー店に車を返却する。そして 15:55 の飛行機に乗りセントレアに向けて帰宅する。



韓国岳頂上から高千穂峰を望む

〈リーダー所見〉 天候に恵まれ眺望も楽しめて本当に良い登山ができました。「ミヤマキリシマ」を楽しみにしていましたが 2 週間ほど早かったようです。韓国岳は「えびの高原」から登る計画でしたが「硫黄山」付近がレベル 2 で立入禁止区域になり、「大浪池登山口」から登りことになりましたが予定通り「韓国岳」に登れて良かったです。



高千穂峰頂上から韓国岳を望む

確認
(リーダー)
竹
17/06/12
内
作成
(報告者)
竹
17/06/12
内